

令和3年度第2回城東区教育会議 議事要旨			
日時	令和3年12月8日(水)19時～20時15分	場所	城東区役所1階101・102会議室
出席者	教育会議委員、区内小中学校幹事校長、城東区長、城東区副区長、子育て教育担当課長		
内 容			
報告案件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校内における不登校児童生徒の居場所づくりについて ・ スクールカウンセラーの配置について ・ 学校協議会の活性化について ・ 「城東区いじめ・不登校サミット」の開催について ・ キャリア教育について ・ 城東区ヤングケアラー連絡窓口について ・ 城東区「人権サミット」開催のご案内 		
議 題 議事要旨	<p>(議題) いじめの実態把握について、学力向上に向けた取組みについて</p> <p>【いじめの実態把握について】 [質疑] ○: 委員、●: 区長、オブザーバ</p> <p>○教育会議では毎回「いじめ」を議題としているのか。</p> <p>○いじめや暴力行為について、根本的な原因がどこにあるかを分かったうえで議論する必要がある。何かそのあたり議論されているか。</p> <p>○いじめは無くないものだと思うが、人と自分と違うということを意識して、どういものがいじめで、どういことをすると相手は嫌な気持ちになるのかということろをきちんと教えることも大事だと思った。</p> <p>○認知件数は先生や大人たちの意識レベルによっても差があると思う。小学生はよくいじめがあるが、中学生になると今はいじめなんてあまり無いと聞く。中学生の不登校の理由は、いじめというより、「先生が嫌」であったり、「学校に行くのが面倒くさい」といったものが多いのではないか。</p> <p>⇒●いじめは重要な問題と考えており、城東区では令和2年8月に「いじめ撲滅宣言」を制定するなどの取組み実施しており、教育会議においても議論を続けている。</p> <p>●根本的な原因や治療方法がすぐに見つかるわけではないので、穏やかな学校生活を送れるような環境を作っていくことが必要。そのうえで、まずは認知件数を増やし、早期対応、早期解決につなげたい。また、不登校の原因は家庭環境や学力的な理由など千差万別であり、事情に応じ個別に対応していかざるを得ないと考えている。</p> <p>●(中学生になるといじめの認知件数が減少することについて) 中学生になると小学生の時より許容量が大きくなるという見方もあるが、逆に感受性が高くなり、数字に表れにくくなっていることもあると思うので、受け止め側の感度を高めてほしいと思っている。</p> <p>【学力向上に向けた取組みについて】</p> <p>○学校協議会でも学力の問題が議論されているが、国語力が弱いので、上げていくために図書室をリニューアルし、読書の機械を増やすことをやっている。算数や他の教科など、何をしてもやはり国語力は重要だと思う。</p> <p>○子どもに勉強を教えた時に感じたことだが、どうしてこうなるのかということを考えず、</p>		

	<p>すぐに答えを求めるように思うので、もう少し考える力をつけたいと思う。</p> <p>○テスト向けの勉強をすれば点数を上げることができると思うが、ただ数字を上げることがゴールなのか。しかし、本当の学力をあげるということでみんなが動くのかということもある。何を最終目標にするかで対策も変わってくるので難しい問題だと思う。</p> <p>○学力テストの内容も大分工夫されてきており、考える力をつけてないと解きにくい、点を取りにくいものになっている。点数だけで判断するのは安易だと思うが、それがおかしいということでもなく、考える力や理解力が必要な形にはなっている。</p> <p>○試験問題がどのような内容で、それに対してこういう点数だったというものを見ないと。国語力については、語彙力というか、言葉をたくさん知っていることで、色んなことを想像、理解、関係づけることができまるので、すごく大事だと思う。科学的根拠はわからないが、小さいときから親が本を読んであげるっていうことが良いとも聞いた。</p> <p>○こういう取組みをやって学力が上がった、成果があったなど、他の地域の事例があれば、それに沿って考えられるので共有してほしい。</p> <p>○学力が低いから高くするにはどうすればいいのかを考える時に、対策として学力テスト向けの試験をやるという話が出てきてしまうが、それだけではなく、やはり城東区としてどういう子どもを育てたいのか、どういう能力を持った子どもを育てたいのかというところがまずあって、それに対してどういうことをやっていきたいのかを考えて議論すべき。</p> <p>試験で良い点をとることが子どもにとって良いのだという意見も当然あっていいわけだし、分けて議論していきたいと思った。</p> <p>○いじめの問題と学力の問題は重なってくる。インクルーシブというのは多様性を尊重する教育。子ども一人一人に得意不得意があり、昔は勉強ができなくても、運動が得意だとか何か特技があるということも大事にされてきた。一人の人間として認められると自分なりに考えて行動する。いじめの問題でも自分なりにいじめについて考えていく。</p> <p>○違いを認めるっていうところがすごく大事。世界的にはダイバーシティ&インクルージョンと言われているので、そういうところを目標に掲げて教育を進めていくことは本当に大事だと思う。</p> <p>【その他】</p> <p>○学校協議会について、前回会議の際、自分が参加する学校では資料が当日に配付されるので、前もって送付してほしいと発言したが、それ以降、学校から行事や運動会の案内が来るようになり、先日授業参観にも行ってきた。</p>
資料	<p>【資料1-1】城東区における不登校対策と今後の展開について</p> <p>【資料1-2】「学校内における不登校生徒の居場所づくり」のイメージについて（案）</p> <p>【資料2】スクールカウンセラーの配置について</p> <p>【資料3-1】学校協議会の運営状況に関する調査 取りまとめ結果</p> <p>【資料3-2】学校協議会の活性化について</p> <p>【資料4】「城東区いじめ・不登校中学生サミット」の開催について</p> <p>【資料5】各小中学校におけるキャリア教育の取組み等</p> <p>【資料6】城東区役所からのおしらせ（城東区ヤングケアラー連絡窓口）</p> <p>【資料7】城東区人権サミット（開催案内リーフレット）</p> <p>【資料8】令和2年度大阪市立小中学校における暴力行為・いじめ認知・不登校数</p> <p>【資料9】令和3年度全国学力・学習状況調査大阪市の結果</p>

